

標題 | 私は、みんなは、どんな農業を目指すの？～新規就農者交流会を開催～

(ダイジェスト)

平成31年3月2日、邑南町中野公民館にて川本町、美郷町及び邑南町在住の就農に向けた研修生や新規就農者、師匠農家が一堂に会し、相互交流を図る新規就農者交流会が開催されました。

邑智郡では担い手の高齢化などで生産者が減少しており、将来も活力のある産地となるよう、研修制度の充実など新たな担い手の確保に取り組んでいます。

そんな中、研修生や新規就農者は、栽培技術はもちろんのこと、生活面やその他多岐に渡る課題に悩まされることがあり、ひとりではなかなかよい答えが出せない場面がありました。

そこで、それらを共有し助け合える仲間作りの場を提供できないかと関係機関で検討し、師匠農家の講演や新規就農者の事例発表、また「自分の農業を目指すために」というテーマでグループ討議を行い、互いに刺激を与え合う交流会を開催することとなりました。

当日は邑智郡内の自営新規就農者や研修生の18名が参加。関係機関からも多数の参加があり、大変賑やかな会として始まりました。

交流会では、初めに邑南町の師匠農家による講演「私と農業」でスタートし、農業に向き合ったこれまでの人生や新規就農者・研修生に向けたメッセージが語られ、続いて新規就農5年目をむかえた2名による事例発表があり、営農の状況や工夫、今後の意気込みなど、身近な先輩の体験談が語られました。

最後のグループ討議「自分の農業を目指すために」では、「営農する上で困っていること」「栽培技術の磨き方」等を紙に書き、シェアシートに貼って共有し、「自分の農業を目指すために」自身がどうしていくのか、どうすれば良いのか、グループのメンバーと活発に意見交換が行われ、閉会時間となっても白熱した議論が止まず、閉会後も多数の出席者が居残って心の内を話し合うなど、多くの仲間ができた様子でした。

今回の交流会は、アンケートでも評価が高く、次回を待ち望む意見もありました。普及部としては、次年度以降も工夫しながら交流会を開催することで、師匠や新規就農者、研修生との交流を促進し、担い手が営農しやすい環境作りの参考にもしたいと考えています。

シェアシート→

「今日の話聞いて参考に出来ることは？」「営農(研修)する上で困っていることは？」「どのように栽培技術を磨いている？」「自分の農業を目指すために」



↑ 師匠農家による講演



↑ グループ討議の様子



